



# SEASON REPORT

NTT JAPAN RUGBY LEAGUE ONE 2021-22 SEASON

Thank you for your support



<ミッション>

# 革新と情熱で、 心躍る最高の感動をつくりだす

ラグビーの世界で、最高峰にチャレンジする。

フィールドの中でも、外でも、世界と対等以上に渡り合う。

私たちはそのために、  
自分たちにしかできないアイデアと熱量と想いを結集し、  
「最高だって思える瞬間」「心躍る感動」を  
つくり続けます。

<ビジョン>

# 静岡から世界を魅了する、 日本一の プロフェッショナルラグビークラブをつくる

静岡県を代表するクラブとして、  
ファン・地域・パートナーとともに、  
プレーのみならず、  
ラグビーに関するすべての分野で世界最高峰に挑んでいきます。

『SHIZUOKA PRIDE』を胸に、  
日本、世界で語り継がれる強く・愛されるクラブを目指し、  
ラグビー界を牽引します。

## 目次

ご挨拶	-----	P3
監督ご挨拶	-----	P4
キャプテンご挨拶	-----	P4
選手・チームスタッフ	-----	P4
戦績・観客数	-----	P5
ホストスタジアム	-----	P5
各種プロモーション	-----	P5
メディア露出	-----	P6
SNSフォロワー数	-----	P6
ホストゲーム会場でのイベント	-----	P7
静岡ブルーレヴズ オフィシャルファンクラブ CLUB REVS	-----	P7
普及活動	-----	P8
ラグビースクール・アカデミー	-----	P8
地域推進	-----	P9
熱海市伊豆山地区土砂災害支援	-----	P9
NTT JAPAN RUGBY LEAGUE ONE	-----	P10
2021-22 シーズン 静岡ブルーレヴズ オフィシャルパートナー	-----	P11

# ご挨拶



静岡ブルーレヴズ株式会社  
取締役会長

柳 弘之

日頃より静岡ブルーレヴズにご支援並びにご声援を賜りまして、厚く御礼申し上げます。  
コロナ禍で迎えたNTTジャパンラグビー リーグワン開幕ではございましたが、静岡ブルーレヴズも幾多の困難を乗り越え、5月8日(日)のホストゲーム最終戦を持ちまして、今シーズンの全日程を終えることが出来ました。

これもひとえに皆様のあたたかなご支援によるものと深く感謝しております。

誠にありがとうございました。

我々は、日本一のプロフェッショナルラグビークラブを作り、プレーのみならずラグビーのあらゆる面で世界最高峰にチャレンジをするべく、昨年船出を致しました。

あらゆる活動を通じて、ファンの皆様や地域の皆様そしてクラブスポンサーの皆様と共に、今後もそのチャレンジを続けて参ります。

皆様におかれましては、今後とも静岡ブルーレヴズをあたたかく見守っていただき、何とぞ変わらぬご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



静岡ブルーレヴズ株式会社  
代表取締役社長

山谷 拓志

プロラグビークラブとしてのファーストシーズンをサポートいただきましたスポンサー・サプライヤー・パートナー企業ならびにメディアの皆様、いつもスタジアムで熱い応援をいただいたレヴニスタの皆様、試合運営を支えていただきました静岡県ラグビーフットボール協会・ジャパンラグビーリーグワン・アザレアセブン・運営委託企業など運営関係者ならびにボランティアRevsCrewの皆様、地域活動や普及活動をご支援いただきました自治体や学校関係者の皆様、そして株主であり選手の職場でもあるヤマハ発動機の皆様など、静岡ブルーレヴズにご支援ご協力をいただきましたすべての皆様に心から感謝を申し上げます。  
またコロナウイルス感染症に起因し一部の試合が中止となりご心配をおかけいたしましたことをお詫び申し上げます。

次シーズンは必ずやパワーアップし、ここ数年のうちにタイトルを獲得するべく努めて参ります。

そして夢や感動があふれる満員のスタジアムをつくりあげ、強く愛される世界一のプロラグビークラブを目指して参ります。

今後とも静岡ブルーレヴズに変わらぬご支援ご協力を賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

本当にありがとうございました！



静岡ブルーレヴズ株式会社  
クラブ・リレーションズ・オフィサー

五郎丸 歩

日頃より静岡ブルーレヴズへあたたかいご支援、ご声援ありがとうございます。

皆様の支えがあり静岡ブルーレヴズとしての初シーズンを無事に終了することができました。コロナ禍で難しい場面も多く、皆様にご迷惑をお掛けすることも多かったかと思えます。

来季はチームの強化はもちろんのこと、運営サイドも今シーズン以上に努力し、皆様とRevsにしか作り出せないものを常にチャレンジし、『このクラブが静岡県にあってよかった。』そう思っただけのまでクラブ全体で尽力して参ります。

まだまだ未熟ではありますが、これからも未長く静岡ブルーレヴズを宜しく願いいたします。



監督  
堀川 隆延

静岡ブルーレヴズのリーグワン初年度の挑戦に熱いご声援、ご支援を頂きまして、誠にありがとうございました。心より感謝申し上げます。

今期は、ヤマハ発動機ジュビロ時代に掲げた「ヤマハスタイル」というフィロソフィーを、革新と情熱で「レヴズスタイル」という新たなスタイルを創り上げていくことに勇気を持って挑戦してきました。

新しいスタイルを築き上げる過程の中で、成功と失敗を繰り返しながら、選手達は試合を重ねるごとに成長を遂げてくれました。また選手一人一人が自分自身の明確なビジョンを描き、様々な国々から集まった仲間と多種多様な価値観を共有しながら、シナジーを生み出してくれたことがチームの成長に繋がっていると確信しています。

来シーズンは「レヴズスタイル」を更に進化させて、多くの方々に感動を与えるチームに成長し、日本一を目指します。



キャプテン  
大戸 裕矢

平素より多大なるご支援、ご協力をいただき誠にありがとうございます。

静岡ブルーレヴズ立ち上げ初年度にも関わらず、皆様からたくさんの応援を頂いたこと、心より感謝申し上げます。特に静岡県内で行われたホストゲームにおいては、たくさんの方にスタジアムまでご来場いただき、たくさんの応援に直接触れることができました。今シーズンはAll for Shizuokaをクラブスローガンに掲げておりましたが、皆様からの声援はチームの確かな力となり、今シーズンを戦い抜く原動力になったものと思います。

静岡ブルーレヴズはまだ進化の過程です。来シーズン、その次のシーズンとまだまだ進化していきます。勝利だけでなく、皆様から応援していただけるようなチームに進化していくことをお約束しますので、引き続きのご支援のほど、よろしくお願い致します。

静岡ブルーレヴズはまだ進化の過程です。来シーズン、その次のシーズンとまだまだ進化していきます。勝利だけでなく、皆様から応援していただけるようなチームに進化していくことをお約束しますので、引き続きのご支援のほど、よろしくお願い致します。

## 選手・チームスタッフ

(2022年5月8日時点)


## STAFF

部長 / セネラルマネジャー  
アシスタントセネラルマネジャー / 選手リクルート担当  
アシスタントセネラルマネジャー / 渉外  
選手リクルート担当  
監督  
ヘッドコーチ  
アシスタントコーチ  
スクラムコーチ  
スピードコーチ  
スポットコーチ

山谷 拓志  
串田 義和  
佐藤 洋平  
西内 勇人  
堀川 隆延  
大久保 嘉弥  
有賀 剛  
名倉 翔伍  
杉本 龍典  
モセ・トワイアライ

アドバイザー  
ブレインガードアドバイザー  
アナリスト  
II コーディネーター  
主務  
ハイパフォーマンスマネジャー  
ハイパフォーマンスコーチ  
ハイパフォーマンスコーチ  
ヘッドアシスレティックトレーナー  
アシスレティックトレーナー

長谷川 慎  
矢富 勇毅  
瀧尾 剛太  
松山 貴博  
池町 信哉  
新田 博昭  
井野川 基知  
佐藤 大起  
飯田 力  
鈴木 浩亮

リカバリースペシャリスト  
リカバリースペシャリスト  
メディカルアドバイザー  
メディカルアドバイザー  
チームドクター  
チームドクター  
管理栄養士  
通訳  
通訳/副務  
エグゼクティブコーチ

相澤 基貴  
村田 隆郎  
山口 英祐  
中野 大介  
山崎 肇  
浪川 高一郎  
松本 恵美子  
横原 美央  
赤松 魁  
倉重 知也



山口 楓斗  
FUTO YAMAGUCHI

## メディア露出

静岡県全域をホストエリアとし、県内メディア露出も増加中



### 【新聞】

2021年6月22日の会社設立～4月末までの静岡新聞への紙面掲載回数 約100回

### 【TV】

2021年6月22日の会社設立～4月末までの SBS静岡放送番組内での放送回数 約40回

### 【その他主なメディア掲載、放送実績】

読売新聞・日経新聞・中日新聞・建通新聞・日刊スポーツ・スポーツ報知・スポーツニッポン・サンケイスポーツ・東京中日スポーツ・ラグビーマガジン・ラグビリーパブリック・広報いわた・磐田商工会議所会報誌・ジュニアアスリート・びぶれ・清水ベイブレス・NHK・静岡朝日テレビ・静岡第一テレビ・テレビ静岡・K-MIXラジオ (Radio SHIZUOKA BlueRevs/マンスリーレヴズ)・SBSラジオ (磐田市情報館発! 磐田情報局)・FM Haro! (静岡ブルーレヴズ ライブスペシャル 2022) ほか

## SNSフォロワー数

各種SNSで静岡ブルーレヴズを広く世界に発信! スポンサー様やレヴニスタ、行政等とのコミュニケーションツールとして運用しました。

 <b>23,553</b> FOLLOWERS アカウント開設 2010年3月 <b>【概要】</b> ・クラブの主たる情報発信源 ・即時性を活かし、試合速報にも注力 ・アカウント上のキャンペーンなども不定期で実施 【JAPAN RUGBY LEAGUE ONE DIVISION 1】 ・フォロワー数 第3位	 <b>14,697</b> FOLLOWERS アカウント開設 2018年4月 <b>【概要】</b> ・写真やグラフィックなどでクラブのブランドを発信 ・普段の練習の様子やクラブの地域推進の模様などもお届け 【JAPAN RUGBY LEAGUE ONE DIVISION 1】 ・フォロワー数 第10位	 <b>3,128</b> FOLLOWERS アカウント開設 2018年3月 <b>【概要】</b> ・主にゲームレポートやゲームフォトなどを投稿 【JAPAN RUGBY LEAGUE ONE DIVISION 1】 ・フォロワー数 第11位	 <b>3,990</b> FOLLOWERS アカウント開設 2010年4月 <b>【概要】</b> ・ライブ配信など積極的に実施 (プレシーズンマッチ初戦の豊田自動織機戦は平均1,600名が同時視聴、アーカイブで17,000回視聴) 【JAPAN RUGBY LEAGUE ONE DIVISION 1】 ・フォロワー数 第5位	 <b>1,782</b> FOLLOWERS アカウント開設 2021年9月 <b>【概要】</b> ・2021年9月より運用開始 ・今まであまり見られなかった選手たちの日常やユーモアな一面をショートムービーで紹介 【JAPAN RUGBY LEAGUE ONE DIVISION 1】 ・静岡ブルーレヴズのみ開設	 <b>1,141</b> FOLLOWERS アカウント開設 2022年3月 <b>【概要】</b> ・2022年3月より運用開始 ・チケット/試合情報を中心に投稿 【JAPAN RUGBY LEAGUE ONE DIVISION 1】 ・静岡ブルーレヴズとコベルコ神戸スティーラーズのみ開設

(2022年5月10日現在)

### Twitter Best Post



### Instagram Best Post



### Facebook Best Post



## 戦績・観客数

# NTT JAPAN RUGBY LEAGUE ONE 2022

16試合 5勝 0分 11負 8位

節	HOME/VISITOR	対戦日	対戦チーム	勝敗	スコア	会場	観客数
第1節	VISITOR	1月9日(日)	トヨタヴェルブリッツ	○	不戦敗	豊田スタジアム(愛知県)	-
第2節	VISITOR	1月16日(日)	リコーブラックラムズ東京	○	不戦敗	駒沢オリンピック公園総合運動場陸上競技場(東京都)	-
第3節	HOST	1月23日(日)	東京サントリーサンゴリアス	○	不戦敗	ヤマハスタジアム(静岡県磐田市)	-
第4節	HOST	1月30日(日)	NTTドコモレッドハリケーンズ大阪	●	36-13	ヤマハスタジアム(静岡県磐田市)	2,745
第5節	VISITOR	2月5日(土)	東芝ブレイブルーバス東京	○	26-59	駒沢オリンピック公園総合運動場陸上競技場(東京都)	2,210
第6節	HOST	2月19日(土)	横浜キャノンイーグルス	○	18-28	ヤマハスタジアム(静岡県磐田市)	2,260
第7節	VISITOR	2月26日(土)	NECグリーンロケッツ東葛	●	34-27	柏の葉公園総合競技場(千葉県)	1,718
第8節	VISITOR	3月5日(土)	クボタスピアーズ船橋・東京ベイ	○	24-30	江戸川区陸上競技場(東京都)	2,370
第9節	VISITOR	3月13日(日)	NTコミュニケーションズシャイニングアークス東京ベイ浦安	●	27-10	江東区夢の島競技場(東京都)	1,558
第10節	HOST	3月20日(日)	コベルコ神戸スティーラーズ	○	不戦敗	エコパスタジアム(静岡県袋井市)	-
第11節	HOST	3月27日(日)	埼玉パナソニックワイルドナイツ	○	25-26	IAIスタジアム日本平(静岡県静岡市)	3,784
第12節	HOST	4月9日(土)	リコーブラックラムズ東京	●	45-19	ヤマハスタジアム(静岡県磐田市)	2,838
第13節	VISITOR	4月17日(日)	東京サントリーサンゴリアス	○	27-56	秩父宮ラグビー場(東京都)	4,695
第14節	HOST	4月23日(土)	トヨタヴェルブリッツ	○	15-18	エコパスタジアム(静岡県袋井市)	3,767
第15節	VISITOR	5月1日(日)	NTTドコモレッドハリケーンズ大阪	●	不戦勝	ヨドコウ桜スタジアム(大阪府)	-
第16節	HOST	5月8日(日)	東芝ブレイブルーバス東京	○	29-33	ヤマハスタジアム(静岡県磐田市)	6,326

静岡ブルーレヴズホストゲーム 総観客数:21,720名 平均観客数:3,620名

## ホストスタジアム



**エコパスタジアム(袋井市)**  
2019年ラグビーワールドカップの熱狂の舞台となったエコパスタジアムで開催。  
浜松市・掛川市・袋井市を対象に抽選ご招待企画を実施し、静岡県のラグビークラブとして地域のみならずとの接点を積極的に創出。



**IAIスタジアム日本平(静岡市)**  
清水エスパルスのホームスタジアムであるIAIスタジアム日本平で、ヤマハ発動機ジュビロ時代も含めて初めて静岡県中部地区でのラグビー公式戦開催。



**ヤマハスタジアム(磐田市)**  
伝統あるヤマハスタジアムでホストゲーム開幕戦を含む4試合を開催。  
4/9には磐田市民招待や、5/8最終戦では子どもたちの招待企画も実施。  
伝統ある応援アイテムである大漁旗での入場や、家族・子どもたちも試合前から楽しめるイベントを開催。



## 各種プロモーション



### 1.新聞広告

静岡新聞にて毎節試合告知新聞広告(4 1/4段)を出稿

### 2.TVCM

県内4局にて試合告知TVCMを出稿

### 3.交差点看板

磐田見付新通り交差点に3.6m x 3.6mの屋外広告看板を設置

### 4.新浜松駅階段

遠鉄 新浜松駅階段面へ広告掲出

### 5.磐田駅構内看板

JR磐田駅構内へ看板を設置

### 6.ポスター貼り/チラシ配り

ホストゲーム開幕戦を前に県内各エリアにてポスター貼り・チラシ配布を実施

### 7.イベント/各種館内装飾

県内ショッピングモールやイベントスペースにて各種イベントを実施  
また、県内ショッピングモールでの各種館内装飾を実施

## ホストゲーム会場でのイベント



### ブルーレヴズらしさ・静岡らしさが感じられるホストゲーム

ヤマハスタジアム・エコパスタジアム・IAIスタジアム日本平と3つのホストスタジアムで開催するホストゲームは、それぞれ特徴のあるスタジアムイベントを実施。

バイクや大漁旗、エコパスタジアムでの花火など、来場者の皆様に楽しんで頂くイベントを実施しています。

また、観客席で解説を聞きながら観戦ができる音声配信サービス「レヴラジ」では、

はじめて観戦に来られた方にも楽しんで頂ける工夫もしています。

静岡名物の「マグロ」「カツオ」を使ったスタジアムグルメも充実。

今後も「心躍る最高の感動」をホストゲームで提供して参ります。



## 静岡ブルーレヴズ オフィシャルファンクラブ CLUB REVS

OFFICIAL FANCLUB  
**CLUB REVS**



会員の皆様に、静岡ブルーレヴズをより楽しんでいただけるサービスの提供を目指し取り組んでおります。

2021-22シーズンは、試合日のイベントの1つとして、選手入場の際の花道でフラッグを振っていただく「Flag Crew」を実施しました。参加者の方からも、「選手を送り出せて嬉しかった」といった感想を多くいただきました。



バナーにファンの方から寄せ書きを書いていただき、それを選手に届ける「応援バナー」企画を実施しました。また、有料会員限定公開でデジタルコンテンツの配信なども行っています。選手とファンの架け橋となるような存在を目指し、今後もイベントの企画・実施を行ってまいります。

無料会員数

**9,654名**

有料会員数

**2,249名**

(2022年5月7日 12:00現在)

## 普及活動

# ラグビー教育レガシー推進事業



静岡県・静岡県教育委員会との連携事業

2019年に行われたラグビーW杯2019のレガシーを次世代に継承するための活動。推進校に指定された学校へ出向き、ラグビーのコアバリューを教育に取り入れ、子供たちの体力向上や人格形成を育む取り組みを行っています。

2021年度活動実績

計53回、延べ4,185名

# トップアスリート 連携事業



浜松市との連携事業

トップアスリートを学校などに派遣し、体験教室や講演会を開催することで、スポーツを通して子供たちの前向きな意欲を育み、将来のスポーツ実施者の増加や次世代アスリートの育成を図っています。

2021年度活動実績

計7回、延べ433名

# 学校普及活動



幼稚園やこども園に訪問し、ラグビーボールを使ったレクリエーション等を実施。また、小学校・中学校・高校に出向き、経験豊富なスタッフが学年や学校のニーズに合った授業を展開。タグラグビーの基本から試合までを指導したり、元選手の経験を生かして夢を持つ大切さを伝える「夢語り」も行っています。

2021年度活動実績

計30回、延べ940名

## ラグビースクール・アカデミー



ラグビースクール

ヤマハ発動機時代を含め20年以上の活動実績。2021年度は350名(2022年3月時点)の生徒が在籍し、年長から大人クラスまで幅広い年代の方が楽しめるスクールです。経験豊かなコーチがラグビーの技術だけでなく、人間力の向上をサポートしていきます。



アカデミー

2022年4月より新規開校。元トップ選手が個人の競技力向上を最大限サポート。静岡産業大学と連携し、定期的に成長のモニタリングを実施します。



## 地域推進

# 自治体連携協定



静岡県との包括連携協定締結

2021年12月22日(水)静岡県庁にて、静岡県と、密接な相互連携により、双方の資源を有効に活用した協働活動を推進し、地方創生の実現を図ることを目的とした包括連携協定を締結しました。



浜松市・磐田市・袋井市・掛川市との4市合同パートナー協定締結

2021年12月25日(土)エコパスタジアムにて、浜松市・磐田市・袋井市・掛川市と、スポーツを活用したまちづくりの推進を図ることを目的としたパートナー協定を締結しました。



静岡市とのパートナー協定締結

2022年3月27日(日)IAIスタジアム日本平にて、静岡市とスポーツを活かしたまちづくり・ひとづくりのための連携事業に関する協定を締結しました。

# 産学連携



静岡聖光学院中学校・高等学校との産学連携協定締結

2022年3月27日(日)IAIスタジアム日本平にて、静岡聖光学院中学校・高等学校と、次世代を担う人材の育成と相互の発展のため、産学連携協定を締結しました。



静岡産業大学との産学連携協定締結

2022年5月2日(月)静岡産業大学 磐田キャンパスにて、静岡産業大学と次世代を担うスポーツビジネス人材の育成と相互の発展のため、産学連携協定を締結しました。



## 熱海市伊豆山地区土砂災害支援



2021年7月3日(土)に発生した熱海市伊豆山地区土砂災害を支援するため、7月21日から8月末までの期間、クラウドファンディングによる復旧支援の呼びかけを実施し、大変多くの方からご支援をいただきました。9月24日(金)に山谷拓志社長、五郎丸歩CROが熱海市役所を訪れ、熱海市災害復旧支援金募金クラウドファンディングを通じて寄付いただいた支援金を、熱海市 齊藤栄市長へお届けしました。

プロフェッショナルクラブの役割として、これからもラグビーを通して静岡に勇気を与えられるような活動をしてまいります。

**支援総額:1,870,000円(目標金額1,000,000円)**

# 『NTT JAPAN RUGBY LEAGUE ONE』

## リーグロゴ



日本中の熱狂を象徴する「赤い球体」を、ファン・チーム・企業・地域を象徴する「4本の黒いライン」が包み込み、ラグビーボールを形づくるイメージでリーグロゴをデザインしました。「ファン・チーム・企業・地域」がひとつに結束し

「日本中の熱狂」を育てていくことで、世界に向けて飛躍するリーグを表現しています。

## リーグアイデンティティ

### VALUE

#### みんなのために FOR ALL

日本ラグビーが育んだ「多様性の尊重」と「包摂の精神」を、普遍的価値として伝承し発展させていく。

### VISION

#### あなたの街から、世界最高をつくろう

リーグを取り巻くすべてを、世界最高の名に相応しいクオリティに作りあげ、心躍る体験が、日常に溢れる風景を実現する。

### MISSION

#### 1. ファンが熱狂する非日常空間の創造

リーグを取り巻くすべてを、世界最高の名に相応しいクオリティに作りあげ、心躍る体験が、日常に溢れる風景を実現する。

#### 2. 日本ラグビーの世界への飛躍

日本ラグビーの質と技量の常なる向上を図り、世界に、ラグビーの新たな魅力と驚きをひろげる。

#### 3. 地元の結束、一体感の醸成

だれもがそれぞれの立場で参加でき、強いつながりを感じる環境・文化を醸成する。

#### 4. 社会に貢献する人財の育成

ファン、チーム、企業、地域とひとつになり、社会に貢献し、世界に羽ばたく人間を育てる。

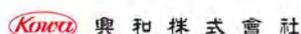
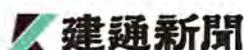
2022 DIVISION 1						
2022 DIVISION 2						

# 2021-22 シーズン 静岡ブルーレヴズ オフィシャルパートナー

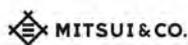
## プラチナパートナー



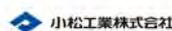
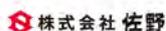
## ダイヤモンドパートナー



## ゴールドパートナー



## シルバーパートナー



## ブロンズパートナー

株式会社アイジーコンサルティング

石川建設株式会社

磐田化学工業株式会社

うちやま呼吸器・アレルギークリニック

株式会社グリーンワークス

須山建設株式会社

株式会社八ヶ代造園

司ゴム電材株式会社

トヨタ L&F 静岡株式会社

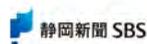
株式会社日本 SI 研究所

株式会社 NEXT STAGE

浜松ホトニクス株式会社

常盤工業株式会社

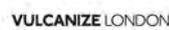
## メディアパートナー



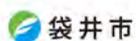
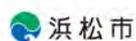
## アカデミーパートナー



## オフィシャルサプライヤー



## 自治体連携協定・産学連携



## 静岡ブルーレヴズ株式会社 会社概要

会社名	静岡ブルーレヴズ株式会社 (SHIZUOKA BlueRevs, Ltd.)
設立	2021年(令和3年)6月22日
資本金	1億円(2022年1月現在)
株主	ヤマハ発動機株式会社(100%)
本社オフィス	〒438-0078 静岡県磐田市中泉1丁目6番地16 天平のまち
クラブハウス	〒438-0002 静岡県磐田市大久保891番地106
取締役会長	柳 弘之
代表取締役社長	山谷 拓志
取締役	橋本 満
社外取締役	鈴木 健一郎
社外取締役	和田 由佳子
従業員数	31名(2022年5月現在)
事業内容	ラグビーチームやラグビースクールの運営、 ホストゲーム興行他

### お問い合わせ

静岡ブルーレヴズ株式会社 電話:0538-32-0206(平日10時~18時) メール:information@shizuoka-blurevs.com